

た太陽電池。高温環境下での発電特性に優れ、設置傾斜角による発電量への影響が極めて少ないという特性を持ち、覆蓋への組み込みに最適で日射量の多い夏場に威力を発揮し、同じ定格出力の結晶型太陽電池と比べて年間約10%多い発電量が見込める。

両社は、浄水場・下水処理場のスペースの有効活用と新エネルギー利用による環境貢献をキーワードとして、「ソーラーカバー Ene・Lite」を全国の自治体向けにアピールし、拡販をめざす。



スポットニュース

シンポジウム「下水道と家庭用品を考える」 下水道展に合わせ開催、21世紀水倶楽部主催

入浴剤や洗剤、トイレに流せる除菌シートなど、次々と新しい家庭用品が開発され店頭に並ぶ昨今。これら家庭用品の使用後に出る排水、つまり家庭下水の性状には当然のごとく変化が現れ、少なからず下水処理にも影響を与えている。こうした中、環境対策を含むトータルの社会費用をいかに軽減していくかといった観点から、家庭用品の使い方などについて考えるシンポジウム「下水道と家庭用品を考える」が開催される運びとなった。下水道展開催期間中の7月29日、NPO法人21世紀水倶楽部が行政や民間企業、消費者団体などから4名の講師を招いて開催する。場所は下水道展会場近くの神奈川県横浜市パシフィコ横浜会議センター。参加費1000円(会員無料)。60名程度の参加を予定している。

【シンポジウム概要】

1. 日時 7月29日 午後1時30分～4時30分
(懇親会 午後5時～7時)
2. 場所 パシフィコ横浜会議センター416号室(みなとみらい下水道展会場隣接)
3. テーマと講師
 - 家庭用品と下水道
南山 瑞彦氏：国土技術政策総合研究所下水処理研究室長
 - 住宅水回り機器の環境技術
井須 紀文氏：INAX創造技術研究室長

○生活者から見た下水道

服部 孝子氏：横浜市消費者団体連合会事務局長

○下水道管理からの視点

北谷 道則氏：横浜市下水道局水質管理課長補佐

4. 参加予定 60名程度

5. 参加費 シンポジウム1000円(21世紀水倶楽部会員は無料)、懇親会5000円

6. 申込 氏名、所属、メール(または電話)を明記の上、メール(kanji_fujimoto@eng.sanki.co.jp)で申し込みのこと。メールのない方はFAX(03-3804-8884)でも可。

大阪市 北浜逢阪貯留管の愛称募集

大阪市は、同市が平成22年度の完成をめざして建設を進めている「北浜逢阪貯留管」の愛称を募集する。北浜逢阪貯留管は合流式下水道の緊急改善対策の一環として、道頓堀川・東横堀川の水質浄化のために計画された大深度・大口径雨水貯留管(深度約50m、直径約6m、延長約4.8km)。市は、この貯留管の建設工事を円滑に推進するとともに、「地域住民より愛され、親しみを感じてもらえる施設にしたい」との願いから、今回の愛称募集を決めた。対象は市内在住者に限らず、広く全国から募集する。応募要領は以下の通り。

【愛称募集要領】

1. 応募資格 年齢等、一切不問